

平成24年6月1日

交野市長 中田 仁 公 殿

交野市環境マネジメントシステム
監査チーム

主任監査員 北嶋 邦夫
副主任監査員 江崎 美枝子
副主任監査員 斎藤 豊

独自目標監査報告書

LAS-E独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日時

平成24年6月1日（金） 13:00～14:30

2. 監査対象

交野市役所

3. LAS-E監査内容

【独自目標（平成23年度実績）監査】

① エコアクション(環境活動)部門	第1ステージ	A110
② エコマネジメント(環境経営)部門	第1ステージ	B110
③ エコガバナンス(環境自治)部門	第1ステージ	C107

4. 監査結果

部門	項目	平成23年度 数値目標	達成状況	部門評価
エコアクション部門	電気使用量	電気使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。	×	○
	ガソリン使用量	ガソリン使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。	×	
	軽油使用量	軽油使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。	○	
	灯油使用量	灯油使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。	○	
	LPG使用量	LPG使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。	○	
	都市ガス使用量	都市ガス使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。 (但し、学校の空調器に係る使用量は含めないが無駄のないように努める。)	×	
	水使用量	水の使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。	○	
	廃棄物の排出量	廃棄物の量を、平成22年度より削減する。	×	
	コピー用紙の使用量(購入量)	コピー用紙の使用量(購入量)を平成22年度より削減する。	○	
エコマネジメント部門	CO ₂ 換算温室効果ガス排出量	CO ₂ 換算温室効果ガス排出量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。 (但し、学校の空調器に係る使用量は含めないが無駄使いのないように努める。)	×	○
	職員研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる職員研修を、年2回以上開催する。	○	
	実行責任者研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる実行責任者研修を、実行責任者に年2回以上開催する。	○	
エコガバナンス部門	環境に配慮した独自の取り組み目標の設定	各職場において環境に配慮した独自の取り組み目標を1つ以上設定する。	○	○
	環境に関する情報の提供	環境に関する情報を広報誌やホームページ等で年6回以上提供する。	○	

※ 達成状況：○＝達成、×＝未達成

※ 評価：○＝良好、△＝改善要望、×＝勧告

5. 所見

(1) 評価

平成23年度の独自目標について監査した結果、エコアクション部門・エコマネジメント部門・エコガバナンス部門すべてについて「良好（○）」と評価しました。

(2) エコアクション部門について

個々の達成状況をみると、10項目のうち5項目で目標を達成していませんでした。電気使用量については猛暑日や冬日が基準年度より多かったことやポンプ施設・環境監視施設の増設、ガソリン使用量については40周年記念事業や東北の被災地支援、都市ガス使用量については猛暑日が多かったこと、廃棄物については機構改革による事務所の移動などが理由とされています。これらの結果として温室効果ガス排出量についても目標を達成できませんでしたが、基準年の平成21年度よりは削減されていることから、部門評価を「良好（○）」としました。

なお、施設の増加や使用燃料の変更があらかじめ分かっていたのであれば、それに合わせた目標を設定すべきでした。

(3) エコマネジメント部門、エコガバナンス部門について

実行責任者、新規採用職員、一般職員向けの研修が、目標以上に実施されています。職場ごとの独自目標も設定され、評価も実施されました。広報「かたの」への環境に関する情報も毎月掲載されました。いずれも目標以上によく実施されており、両部門ともに部門評価を「良好（○）」としました。

(4) 今後の取り組みについて

ガソリン使用量については、再度エコドライブ講習を実施するなどして、燃費向上を心掛けてください。

廃棄物が増加した理由として、廃棄される残飯の量が増加したこともあげられています。食べ残すことがあっても廃棄しなくて済むような方法を検討してください。

電気使用量については、取り組み始めて5年が経過し頭打ちになっていることや、過去の傾向から削減は難しそうです。しかし、今年は夏に向け関西電力が節電を要請していますから、これを機会に、取組状況を再点検したり、電気を使用する時間帯を工夫したり、さらには設備機器の更新を本格的に検討されると、打開できる可能性があります。

今回の監査では、部所ごとの内訳がわかる資料を配布していただき、より理解しやすくなりました。増加してしまった職場の分析だけでなく、継続的に削減できている職場について、どのような工夫や努力によって実現しているのかを分析されると、今後のヒントが得られるかもしれません。